

建設物価 建設資材物価指数[®] 2025 年 2 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

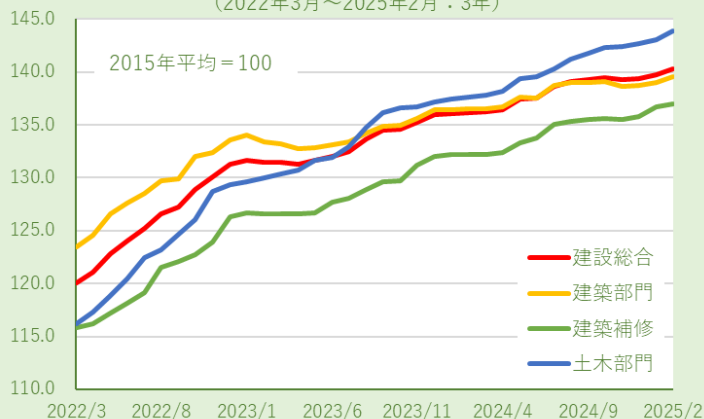
1. 指数の動向（全国平均）

2025 年 2 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が **140.3** となり、前月比+0.4%(+0.6 ポイント)と **3 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+3.1%(+4.2 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **139.5** となり、前月比+0.4%(+0.5 ポイント)と **3 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+2.2%(+3.0 ポイント)となった。**建築補修**は **137.0** となり、前月比+0.2%(+0.2 ポイント)と **3 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+3.6%(+4.8 ポイント)となった。**土木部門**は **143.9** となり、前月比+0.6%(+0.8 ポイント)と **2020 年 5 月以来 57 カ月連続の上伸**となり、最高値を更新した。前年同月比では+4.6%(+6.3 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2022年3月～2025年2月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【紙・木製品】木質繊維版

原材料のチップ等の値上がりによる製造コスト増を背景としたメーカーの値上げ浸透により、プラスに寄与

【窯業・土石製品】コンクリート製品

原材料費の上昇や輸送コスト増を背景としたメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

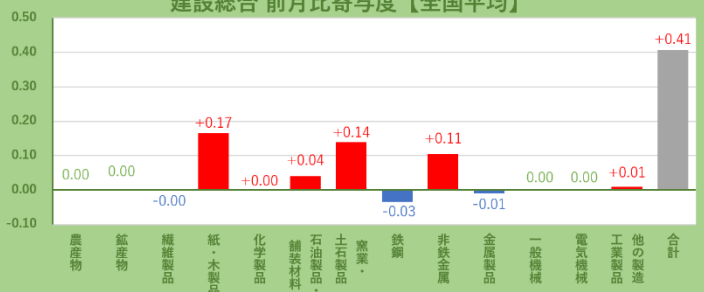
【鉄鋼】H形鋼・異形棒鋼

需要減少による販売店間の受注競争激化に伴い市況が下落し、指数動向のマイナスに寄与

【金属製品】ステンレス鋼

需要減少による販売店間の受注競争激化に伴い市況が下落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

上記のプラス寄与要因のほか、補助金支給額縮減に伴い全国的に燃料油が値上りしたことや石油由来のゴム製品の値上げ、主原料である銅の建値が上伸したことによる電線・ケーブルや銅製品の値上げなどが各都市の指数動向のプラスに寄与した。

都市別に見ると【高松】(前月比+1.6%)では、原材料費の上昇や輸送コストの増加などを背景とした生コンクリートの値上げ浸透が、鉄鋼価格の下落を上回ったことで、指数動向のプラスに大きく寄与する結果となった。また、【広島】(同+1.1%)では、高松と同様に、製造・輸送コストの増加を販売価格に転嫁した生コンクリートの値上げに加えて、異形棒鋼が横ばいで推移したことによって他都市を上回るプラス寄与となった。

各地の建設総合部門の指数【2025年2月分】

全国平均：140.3 前月比 +0.4% 前年同月比 +3.1%	新 潟：137.4 前月比 +0.4% 前年同月比 +3.3%	札 幌：141.4 前月比 +0.4% 前年同月比 +3.5%
広 島：139.4 前月比 +1.1% 前年同月比 +3.8%	大 阪：143.9 前月比 +0.3% 前年同月比 +2.7%	仙 台：135.7 前月比 +0.3% 前年同月比 +2.8%
福 岡：141.7 前月比 +0.3% 前年同月比 +2.8%	東 京：139.8 前月比 +0.4% 前年同月比 +2.9%	
那 覇：139.2 前月比 +0.3% 前年同月比 +2.8%	高 松：148.4 前月比 +1.6% 前年同月比 +3.9%	名古屋：141.6 前月比 +0.3% 前年同月比 +3.5%



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp